異常でずさんな 岡山市の新アリーナ

9月議会では、税金で建設して経済界が運営する「公設民営・独立採算」で整備を目指す岡山市の新アリーナについて、さまざまな異常さが明らかになりました。

アリーナは全国88箇所以上で整備ラッシュですが、公設アリーナ（税金でつくるアリーナ）は、公立体育館や公立総合公園などの再整備事業の中で建替えされるものばかりです。市は、単独で新設する公設アリーナの事例を示せませんでした。

完全独立採算で運営できている公設アリーナがあるかという質問にも、市は事例を答えられませんでした。市が唯一、黒字だと紹介した沖縄アリーナも、指定管理制度（運営に税金投入が前提）です。周辺との都市間競争が激しいとは言えない観光目的地であり特殊な事例です。

一方、**岡山市の周辺では、香川、広島、姫路、神戸などで１万人規模のアリーナが次々にオープンします。岡山市の計画地は敷地がはるかに狭く、同規模は困難**です。市長は、都市間競争に勝ち、賑わい創出につながる今後の岡山には欠かせない施設と強調しますが、現実的とは言えません。

アリーナ建設に関わる動き

	2021,9月	経済界から要望	岡山経済界
要望を受け	12月	経済界から要望「アリーナ建設に向けた提言」	
	2022,2月	基礎調査予算（500万円）	岡山市
	5月	基礎調査報告(**総事業費81億円**)	
要望を受け	12月	経済界から要望「新アリーナの整備について」	
	2023,2月	基本計画予算（2,500万円）	
	2024,2月	建設推進署名 約85,000筆提出	
	4月	基本計画報告　(**総事業費145億円**)	
要望を受け	5月	経済界から要望(民営の収益性高めるための提案)	
	6月	追加調査予算　(2,000万円)	

田中のぞみ

あまりに経済界いいなりでは？！

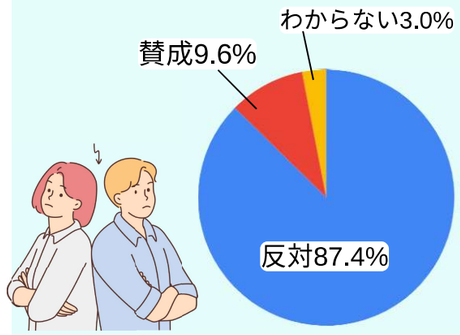
結局、税金まる抱え？

全国的には、民設民営のアリーナも多数あり、また、建設費の大半を寄付でまかなった施設もあります。

岡山市の場合、経済界は費用145億円のうち8億円集める目標ですが、全体費用が増えるのは確実にも関わらず、目標額の引き上げはしない趣旨の発言をしています。ほぼ税金で建設し、その後の運営にも巨額の税金が投入されることは、容易に想定されます。地方の公設アリーナで独立採算の成功例が無い中、市の構想がいかにずさんなものか、見えてきます。

党市議団が独自に行っているアンケートでは、**9割近くが税金による建設に反対です**。自由記述欄の意見には、さまざまな角度からアリーナに反対する声があふれています。多額の税金を投入するアリーナ建設は、すべきではありません。

プロスポーツの試合やコンサートのための新アリーナを税金で建設することについて、どう思いますか。



党市議団アンケート調査

それでも推進？

岡山市は「アリーナ整備検討会議」を立ち上げ、どんなアリーナがいいか、各界の役割分担をどうするか、など話し合っています。委員の構成は経済界やプロスポーツ関係者と市長や議長などで、公募市民は入っていません。建設ありきでどんどん進んでいます。

NO. 301
2024/11/17

Politics of Okayama City
日本共産党
岡山市議団 news

日本共産党岡山市議団

林じゅん　田中のぞみ　やどめ和子　東つよし

発行者　日本共産党岡山市議団　岡山市北区大供1-1-1　086-803-1707
Mail : kyousantou_shigidon@city.okayama.jp

このニュースは政務活動費でつくっています。

議員提案 こどもの権利条例 策定中

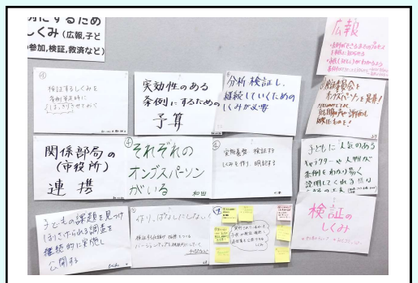
岡山市議会が、「こどもの権利に関する条例」づくりを進めています。条例試案には、子どもの権利を明文化し、子どもが自分の持っている権利を知ることや、周りの大人は子どもの権利を守り、意見を大切にすることなどが盛り込まれています。「こども議会」も検討されています。

市議会では特別委員会を設け、様々な団体等から意見を聞いてきました。

岡山市の条例としては初めて「子どもの権利条約」を明記し、それにもとづくものです。党市議団も長年求めてきました。

子どもへのアンケートでは、4,574件の声が寄せられました！

- 考えを押し付けず、子どもの意見をもっと聞いてほしい
- いじめを放置しないでほしい
- こどもの権利をもっと知ってほしい
- 権利を侵害する校則をなくしてほしい



9月8日に行われた「市民のつどい」の分科会でも沢山の意見がありました！

一方で、子どもの意見を代弁したり、権利を侵害された時に救済したりする**第三者機関の設置が明記されていない**など、まだ不十分と考える点もあります。

日本では、生活困窮や子ども虐待など様々な困難に直面している子どもが少なくありません。学校も、不登校等の増加や、国連からたびたび「過度な競争教育」と指摘されている状況です。子どもの権利が守られているとは言えない現実が、まだ幅広くあります。

子どもを大切にする岡山市をつくっていくことにこの条例が役立つことを期待しつつ、実効性のあるものとなるよう引き続きがんばります。

市民の意見募集予定

特別委員会では、今後最終的な案をとりまとめ、12月頃からは広く市民の意見を募る予定です。みんなの声でより良い条例にしていくために、ぜひ多くの方のご意見をお寄せください。

こどもの権利が守られる社会へ！

やどめ和子